平成31年4月7日
執　　行
（両面をご覧ください）

大分県議会議員選挙公報

中津市選挙区

大分県選挙管理委員会
（掲載順序はくじによる）

毛利まさのり

★ 新たな時代につなげていく力～子どもたちの未来のために！～

地方創生

防災減災
・県土強靭化に取り組みます

商工業振興
・進出企業の誘致、次世代産業の開発、育成

福祉
・子育て満足度日本一を目指します
・障がい者雇用日本一を目指します
・健康寿命日本一を目指します

農林水産業振興
・地元ブランド作物の推進と流通を確立させます

観光振興と地域づくり
・観光事業の整備、充実をはかります

スポーツ振興と青少年育成
・教育予算の充実をすすめ学力、体力向上をはかり、全国ナンバー1を目指します

◎**4期目**の厳しい厳しい戦い　皆様方、お一人おひとりのお力をおかりして、歩んできました。
大分県・中津市のために仕事をさせてください。**あと一歩です、勝たせてください**
あなたの大切な一票を毛利まさのりに託してください。よろしくお願い申し上げます。

馬場はやし（ばば）

＊子どもに夢を
＊働く人に希望を
＊お年寄りに安心を

私の原点は、「命の大切さ」そして「日々のくらしの厳しさ」を学んだ、二十歳までの生活の中にあります。

私は、四歳の時に父を、二十歳で母を病気で亡くしました。私が成人するまで、母はひとりで私たち子どもを育ててくれました。母は、日々のくらしの中で、生きていく厳しさや強さ、そして優しさを教えてくれました。その後、中学校教員として過ごした二十六年間、様々な環境の中で生きていく子どもたちとともに充実した日々を過ごすことが出来ました。多くの子どもたち、保護者、地域の方々と出会い学んだこと、それは「一人がみんなのために、みんなが一人のために」という、支え合いでした。

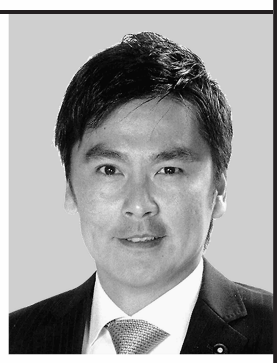
十六年前、これまでに出会った多くの人々の思いや願いを政治の場に届けたいとの思いから議員の道を選びました。市議二期、県議二期の活動をする中でも、多くの方々から学ばせていただきました。

障がいのある子どもを持つ親の方々、九州北部豪雨で二度にわたり被害に遭われた方々、長時間労働で娘を亡くされた方などからも切実な思いを伺いました。その中で、痛切に感じたのは「子ども・働く人・お年寄りが、どこに住み、どこで学び、どこで働いても、安心してくらしていける社会」の実現です。

子どもたちが夢を語り、生き生きと学ぶことができるために、働く人が希望を持ち、仕事に誇りを感じて働けるために、お年寄りが地域で安心してくらせるために・・・・・。

私は、みなさんの思いや願いを議会に届け、ともに「命・くらし・ささえ合い」を大切にする社会の実現をめざします。

あなたの**信頼**に応えます



大友栄二

若さと行動力で活力ある地域を創造！

「かけがえのない人たちと、かけがえのない地域のために」

◉ **安全安心の地域づくり**
○ 地域医療や社会福祉の増進
○ 防災力強化
○ 子供やお年寄りが安心して暮らせる街づくり

◉ **教育県おおいたの推進**
○ 確かな学力と豊かな心、健康と体力を伸ばす学校教育の推進
○ 特別支援教育の充実
○ 安全安心な教育環境の整備

◉ **社会資本整備**
○ 中津日田道路の早期全線開通
○ 中津港整備・利用促進
○ 災害に強く安全なインフラ整備

◉ **観光振興**
○ インバウンド対策
○ 地域の魅力を生かしたツーリズムの推進

◉ **商工業の振興**
○ 地場産業・中小・小規模企業振興
○ 経営者の高齢化と後継者不足対策
○ 多種多様な人材の確保と育成
○ OITA4,0の推進

◉ **農林水産業の振興**
○ 基幹産業である一次産業の保全
○ 地域素材のブランド化
○ 農林水産業の担い手支援

◉ **若者や女性が活躍できる社会へ**
○ 若者にとって魅力ある仕事づくりや労働環境の整備
○ 子育てと仕事の両立支援

◉ **地域振興**
○ 少子高齢化人口減少対策（都市部への一極集中対策）
○ 地域コミュニティの維持・継続

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。